

## 事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

公表 : 令和 3 年 2 月 19 日

事業所名 児童発達支援センター わいわいなかま

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	工夫している点・ 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				
	2	職員の配置数は適切であるか	5				配置基準は満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		1		障がい特性に合わせて、構造化の在り方を変化させたり、玄関から視覚支援を取り入れたりしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		1		老朽化の為、移転を検討中。掃除・消毒等に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				スタッフ会議を、月に一回設け話し合い・検討していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価をするとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		1		保護者からの意見は話し合い、出来るだけ早い対応に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		2		ホームページにて公開していません。改善点については、随時お知らせします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	2		検討中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				コロナの影響で、研修の機会が減っていますが、今後も研修の機会は確保していきたいと考えています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5				保護者と面談する場を設け、ニーズや課題をしっかりと分析した上で、個別支援計画を立案しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				JSI-R等を使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5				個別支援計画に記載しています。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5				個別支援計画に沿って支援をしています。毎回の振り返りの時間に保護者と確認をしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				スタッフ会議で話し合い、チームで共通理解をしています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				年度当初、年間通しての活動プログラムの見直しを立てています。季節・月によって活動プログラムが固定しない様、工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	5				子どもの状況に応じて、適宜組み合わせを行っており、スタッフ間の振り返りの中で、子どもの状況を検討し、支援計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				療育終了後にスタッフ間で振り返りを行い、次回の療育についても打ち合わせを行います。そして当日の療育開始前に最終打ち合わせを行います。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				毎日振り返りの時間を作っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				日々のスタッフ間で振り返りを行い、次回の療育の改善に努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5				定期的にモニタリングを行い、スタッフ間で検討し、見直しをしています。短期間で目標が変わることもあります。
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				主に児童発達管理責任者、又は担当者が参加しています。
	22	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5				保育園・幼稚園・地域療育センター・相談支援事業所等と連携をし、支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	4			現在、医療的ケアが必要な子どもを受け入れていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	4			現在、医療的ケアが必要な子どもを受け入れていません。
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5				情報提供を行い、スムーズな移行を目指しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5				各担当が情報提供書を作成し、各学校を訪問し情報提供を行っています。

機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援や児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5				熊本県子ども総合療育センター、発達障害者支援センター、上益城地域療育センター等での研修を受けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3		2		散歩中の子どもとお会いすることはあります。未就園の子どもさんは現在2名です。療育に来られるのは、ほとんど週1回です。子どもさん達は、保育園、幼稚園で障がいのない子どもさん達と十分関わっておられると思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3		2		現在こども部会はありませんが、地域療育センターが事業所と行政や相談支援事業所と意見交換会を実施しており、子ども部会に準じる会が計画されています。そこに、児発管が参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				親子療育で行っていますので、保護者と振り返りを一諸に行っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		1		言葉の発達・感覚統合など、たくさんミニ勉強会を計画していましたが、今年度はコロナ禍の中にあつて、ペアレントトレーニングはできておりません。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				契約時に、児童発達支援管理責任者が行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5				説明をし同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、対して面談や、必要な助言と支援を行っているか	5				基本的に親子療育で行っているため、療育後半の振り返りの時間に悩みや相談を受けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携が支援しているか	3		2		今年度はコロナ禍の中で出来ていませんが、親子療育の中で、保護者同士話せる時間を作っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		1		毎月、おたより【わいわいなかま】を発行しています。	

	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		1		充分注意しているが、漏れはあると思う。	個人情報の取り扱いについては、充分気をつけています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5					伝わらない時には、伝え方を変えるなど配慮をしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		3			毎年、『デコボコ感謝祭』を行っていましたが、今年度はコロナ禍の中で出来ていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3		2			各マニュアルは、玄関横に備えてあります。訓練は定期的に行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5					避難・救出訓練は定期的に行っていました。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5					保護者の見学体験時、子どもの状況を聞くようにしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5					
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	1			法人全体でのヒヤリハット集はあります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	1			県主催の研修に参加するようにしています。その後、事業所内のスタッフ会議等で研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5					個別支援計画でも記載し、了解を得ています。契約時に説明をしています。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。